

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	文化財に含まれる膠の自然科学的分析による古代文化史および技術史の解明	
研究総括	宮路 淳子	
所属機関・部局・職	奈良女子大学・大学院人間文化研究科・准教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>質量分析を用いた解析により膠のコラーゲンを分析することで墨の動物種を同定でき、これが絹へも応用可能というように歴史資料の新たな展開を可能にし、更なる発展が期待できる。</p> <p>今後は、できるだけ非破壊的に膠コラーゲンを抽出する技術の開発や資料からの不純物の除去・析出、分析の精度の向上など、技術的水準の向上に期待したい。その際、文化財関係の他の機関、施設等の専門家との技術的なコラボレーションを積極的に図っていただきたい。</p> <p>十分な成果を挙げており、成果発表も精力的に行われているが、より一層の学際的な検討と成果の国際的発信を進めていただきたい。</p>		